

人間社会学部におけるキャリア女性学副専攻の経緯と現状

遠藤知巳

人間社会学部では 2002 年度より副専攻制度を設けた。すなわち、人間社会学部の 5 つの学科（主専攻）の外に、それらを横断する三つの副専攻コースを開設することで、キャリアプランに直結する実践的なプログラムの提供を狙いとするものである。

この副専攻制度は、2006 年にリニューアルの検討がはじまった。昨今における女性のライフコースの多様化は、社会環境の急速な変化とそのグローバルな変動状況とともにあるのであり、現代女性が社会にきちんと貢献しつつ、個人として充実した生を歩むうえで、複雑な社会的条件が大規模に連関する現代社会の諸相を把握し、それらに対する多元的な問題解決能力を高めることが重要である。以上のような構想のもと、「現代の女性高等教育ニーズに応じた多領域横断型副専攻プログラムの再編成」というテーマで大学教育高度化推進特別経費補助金と学内の特別重点化資金を得て、従来の副専攻制度は、現代の女性高等教育ニーズに応じた多領域横断型プログラムである「キャリア女性学副専攻」へと再編された。その際、女子大学としての特性を十二分に活かし、現代の高学歴女性のキャリア形成の変化もふまえてコースの一層の質的な向上を図ることを志した。

実際のリニューアルにあたっては、まず、既設の副専攻制度での履修状況や学生の授業評価を精査し、問題点を洗い出した。また、新たなプログラム開発のために本学卒業生の動向や生涯学習状況を把握し、現代の女性高等教育ニーズの現在的な位相と中期的可能性とを検討した。さらに、アジア諸国、とくに本学が学术交流関係をもつ中国の中華女子学院と韓国の梨花女子大学での専攻制度や女性学の実態を調査し、アジア女性学の視野をとりいれて、現代女性のキャリア形成とライフコースの多様化を踏まえた副専攻プログラムの開発に取り組んだ。

以上のような検討と調整を踏まえ、2007 年度より、現代女性のライフコースをふまえたキャリア形成に資することをめざす副専攻として「キャリア女性学副専攻」を実施することになった。その趣旨を、学生に履修を呼びかけたキャリア女性学副専攻のリーフレットでは以下のように謳っている。「人間社会学部の〈キャリア女性学〉は、現代女性の生涯を視野にいれたキャリアを形成するために必要な知識や現状を学ぶことをめざしています。女性たちのさまざまな職業を知り、生き方や働き方を知り、結婚や子育てを含めたライフコースの多様性を理解し、現代女性が生き生きとした人生を設計することを応援します」。

副専攻制度としての再編成という観点から具体的にみると、その要点は、1) 現行の

三つの副専攻を三つのコースとする、2)三つのコースにキャリア女性学副専攻共通のコア科目群を設置する、3)キャリア形成科目との相互乗り入れを検討する、という三点によって特徴づけられる。

キャリア女性学副専攻の特徴は、第一に、既設の副専攻制度を活かして、①地域・行政コース、②国際活動コース、③情報技術コースという三コースのいずれかを選択して履修することである。地域・行政コースは、公務員をはじめとして、さまざまな地域活動で活躍する人材の養成を視野に入れ、経済や法律、行政などの科目に力点が置かれている。情報メディアコースは、コンピュータを駆使する領域をめざす人が、おもに情報技術や情報メディアの処理論やその実際的な応用を学ぶ。外国語を活かした社会活動を目指す学生のためには国際活動コースが準備されており、そこでは、外国語の実践的能力や諸外国の文化・歴史の集中的学習が目指される。各コースでは、具体的なキャリア形成の基礎となるようなベーシックな授業科目を選択することができるのみならず、キャリアプランに直結する実学的な授業科目として地域活動講座、国際活動講座、「コンピュータラゼーションと現代の諸問題」という実践的な授業が必修科目として配置されている。

第二の特徴は、三つのコースに共通のキャリア女性学コア科目を設けることで、いずれのコースを選択しても、女性のライフコースを基盤としたキャリア設計に役立つように工夫したことである。キャリア女性学コア科目は、1)キャリア形成科目群、2)キャリア制度科目群、3)ビジネス系科目群、4)ライフコース系科目群という四つの科目群から構成されており、それぞれの科目群には複数の科目が置かれている。各々の科目群は、それぞれ、1)ライフコースと女性の生き方や現代の家族事情を知る科目（現代女性の生き方を考える）、2)労働事情を知りキャリアデザインを考える科目（現代社会での働き方を考える）、3)女性たちの仕事の実際を知る科目（さまざまなビジネスやキャリアのありかたを知る）、4)具体的な労働の場における諸問題と法律を学ぶ科目（キャリア女性をめぐる問題と解決法の実際を知るために）として配置されているのである。

*

2010年度におけるキャリア女性学副専攻の履修状況は、3年次は総計150名、在籍者数の29.9%、2年次は総計174名、在籍者数の32.6%が副専攻のいずれかのコースを履修している（表参照）。キャリア女性学副専攻では、2年次のはじめに登録し、3年次に所定の単位が取得されていると、4年次に単位修得証明書を発行しており、その証明書が就職活動に役立つように配慮されている。キャリア女性学副専攻の最初の履修者が副専攻修了証書を授与されるのは2011年3月の卒業時であるが、卒業していく学生にとってキャリア女性学副専攻がどのようなものであったか、今後、授業評価や学生へのヒアリングを通して問題点をとらえる予定である。キャリア女性学は本学学生たちが現代女性として自らの「経歴」をより豊かに形成するために必要な知

識や現状を学び、あわせて専門的職業についても幅広く知ることに資するようバージョンアップを続けていく必要がある。

表 人間社会学部キャリア女性学副専攻履修状況 2010年4月

2年次	現社	社福	教育	心理	文化	計
地域・行政コース	37	33	10	10	2	92
国際活動コース	9	4	6	8	22	49
(英語)	(1)	(2)	(5)	(5)	(8)	(21)
(ドイツ語)	(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	(4)
(フランス語)	(2)	(1)	(0)	(0)	(6)	(9)
(中国語)	(4)	(1)	(1)	(0)	(4)	(10)
(イタリア語)	(2)	(0)	(0)	(1)	(2)	(5)
情報メディアコース	7	4	4	4	14	33
計	53	41	20	22	38	174
在籍者数	98	106	123	80	126	533
在籍者数に対する履修者数割合(%)	54.1	38.7	16.3	27.5	30.2	32.6

3年次	現社	社福	教育	心理	文化	計
地域・行政コース	16	16	7	13	5	57
国際活動コース	17	1	6	6	38	68
(英語)	(4)	(0)	(3)	(4)	(16)	(27)
(ドイツ語)	(3)	(0)	(1)	(1)	(5)	(10)
(フランス語)	(5)	(1)	(0)	(1)	(3)	(10)
(中国語)	(5)	(0)	(1)	(0)	(9)	(15)
(イタリア語)	(0)	(0)	(1)	(0)	(5)	(6)
情報メディアコース	11	3	4	4	3	25
計	44	20	17	23	46	150
在籍者数	108	78	110	77	129	502
在籍者数に対する履修者数割合(%)	40.7	25.6	15.5	29.9	35.7	29.9

西成田学務課作成

(えんどう ともみ 人間社会学部現代社会学科教授)